

令和4年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

甲斐市立竜王西小学校

■この調査は・・・

義務教育の機会均等とその水準の向上のために、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析して教育施策の改善を図るとともに、一人ひとりの児童生徒の学習の課題を把握して指導改善につなげるために実施しました。本校の子どもたちの課題について共通理解を図り、学校・家庭・地域が一体となって学力・学習状況の改善に取り組めるよう、結果の概要をお伝えします。

■調査の結果は・・・

対象が小6と中3、教科も国語／算数・数学／英語／理科に限られています。したがってここに示す結果は児童生徒の「学力の特定の一部」であることをご理解ください。（英語・理科は、3年に1度の調査となります。）

1 調査結果について

■学力調査結果からみえる本校の子どもたちの姿

- ・国語の平均正答率は全国とほぼ同程度であり、一定の定着がみられます。特に「書くこと」「読むこと」に関しては、高い定着があり、全国平均正答率を上回っています。一方で「言語」「話すこと・聞くこと」については、正答率が低く、自分の考えをまとめて話をする、という趣旨の出題について課題がみられます。
- ・算数の平均正答率は全国とほぼ同程度であり、一定の定着がみられます。特に「図形」についての出題に対しては、多角形の特徴をよく捉え、解答できています。一方で「数と計算」に対しては課題がみられ、割合や最小公倍数を求める問題で全国平均正答率を下回っています。
- ・理科の平均正答率は全国とほぼ同程度であり、一定の定着がみられます。特に「エネルギー」「粒子」の領域に關しての知識・技能については、高い定着がみられます。一方で実験結果から分かることに対する考察が苦手な実態がみられます。
- ・実施した国語、算数、理科の全てにおいて、全国との差が縮まる、もしくは平均正答率が上回っていて、学力の定着に改善がみられます。

■質問紙調査からみえる本校の子どもたちの姿

- ・よい傾向がみとめられる項目
「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」「人が困っているときに進んで助けていますか」「学級生活をよりよくするために話し合いで解決方法を決めていきますか」「学級会での話し合いを生かして自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか」という4つの項目について高い数値を示しています。
- ・課題となる項目
「普段ゲームや動画視聴をどのくらいしていますか」という項目で3時間以上と答えた児童の割合が高いです。「学校に行くのは楽しい」と回答した児童の割合が全国平均に比べて低いです。「国語・算数の勉強は楽しい」と回答した児童の割合が全国平均に比べて低いです。

2 これからの取組について

■学校で取り組んでいくこと

- ・よい傾向を維持するために、子ども達自身が学級の課題に対する解決策を考え、取り組みができるよう、学級活動の時間を大切に、互いに認め合える集団づくりをします。
- ・朝の活動や特別活動の時間において、子ども同士でお互いコミュニケーションをとれるような活動を行い、自分の気持ちや考えなどを表現する機会を取り入れます。
- ・国語や算数の授業において、ペア学習や班学習などの学び合う機会を増やし、学ぶことの楽しさを感じる授業の工夫をしていきます。

■家庭において取り組んでいただきたいこと

- ・年度当初に配布しました「家庭学習の手引き」を参考にいただき、今後も引き続き、子ども達が自ら学習に取り組めるように、励ましの声を掛けてあげてください。
- ・家庭学習の時間を確保するとともに、テレビやゲームに関する約束やルールを作り、守りながら生活できるようにご指導ください。
- ・子ども達が前向きな気持ちになれるよう、ちょっとしたことでも普段からたくさん褒めてあげてください。